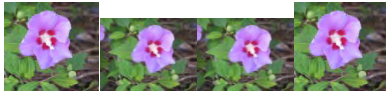
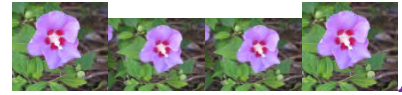




梅雨も明け夏本番になりました。暑い日が続いていますが英気を養って野山へ出かけてみましょう。ただ暑さ対策や熱中症には気を付けたいものです。秋にかけての行事をお知らせします。参加をお待ちしています。



## 8~11 月行事の見どころ



ムクゲ

### ●8月25日(日) 武田尾周辺の自然観察会 ~イワタバコやヨコグラノキの観察~

昨年このコースは雨天中止になりましたが、良い所ですので再度計画を立てました。武田尾の自然観察といえば福知山線廃線跡ハイキングを思い浮かべる人が多いと思いますが、今回は武田尾駅の西側の宝塚側を歩き、ヨコグラノキを見ます。ヨコグラノキは局地的に分布する大変珍しい木で、牧野富太郎博士が高知県の横倉山で最初に見つけたことから名づけられました。午後は西宮市側を歩きイワタバコなどを見ます。イワタバコはタバコの葉に似た葉をつけるので名づけられました。水が滴るような岩壁にはりつくように生えています。西宮では見ることが少ない貴重な植物です。また、他にキハギやアブラチャン・コメナモミなどを見ながら武庫川沿いの平坦な道を約5km歩きます。



アブラチャン



ヨコグラノキ

### ●9月14日(土) 大阪市立自然史博物館見学と長居植物園の観察

西日本一の大阪市立自然史博物館の常設展の見学と併設の長居植物園で多様な草花や時代を越えた自然林などを体感して頂く見学・観察会です。

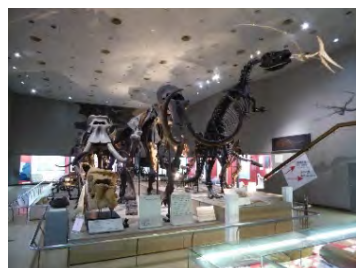
自然史博物館で学芸員さんから展示内容などの案内を聞きます。その後、一旦館を出て、多少涼しい午前中に、植物園の散策と観察をします。植物園では正面の大花壇~大池の周辺散策路で水生植物~溪流の植物~新生代の様々な森~万葉のみちなどを巡ります。博物館内では身近な自然、地球と生命の歴史、生命の進化、自然のめぐみ、生き物の暮らしの5室の展示を見学します。恐竜やナウマンゾウなどの巨大な化石がオープン展示されている部屋、身近な生きものの消長が起こっている姿の部屋など、時間の経つのを忘れてしまいます。なお、別棟で特別展「昆虫」が開催されています。東京で開催された時は44万人の入場者があった大人気展です。博物館内で流れ解散しますので、早めに切り上げて特別展(入場料1400円)を見ても、再度植物園(無料)を散策されるのも可能です。1日ゆっくり楽しめる行事です。



博物館入口



大池の噴水



館内・恐竜など



館内・ジオラマ



特別展のポスター



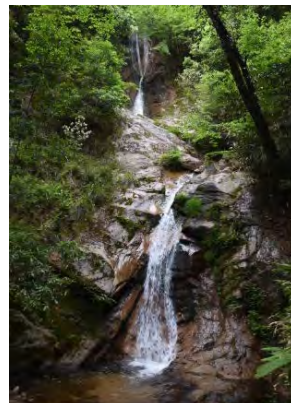
## ● 10月20日（日）バスツアー「白糸の滝と城下町・出石の散策」

出石町は平成17年に近隣1市5町で合併し豊岡市になりました。出石町にある白糸の滝は兵庫森林浴50選にも選ばれている滝です。滝までに1～3の滝があり、道は整備されていて石段になっています。手すりもつけられており登りやすく15分ほど歩くと一番上の白糸の滝に出ます。白糸を流したような無数の流れから名づけられ、2段に分かれていて落差30mあります。森林浴も楽しめます。

滝を見て、出石の町に向かい、名物出石皿そばの昼食です。基本は5皿ですが、少したりないかなと思う人は追加注文もできますので安心してください。この出石そばは出石氏が信州からそば職人を連れてきたのが始まりとのこと。昼食後、皆で出石家老屋敷を見学し、あとは自由散策にします。明治20年に建てられたレトロな建物で郡役所として使われていた出石明治館、明治時代初期の時計台で日本最古とされている辰鼓楼（写真はネットより）、出石城などあります。白磁の出石焼やお土産を見たり、古い街並みをゆっくり散策して3時半ごろには帰路につきます。



トロな建物で郡役所として使われていた出石明治館、明治時代初期の時計台で日本最古とされている辰鼓楼（写真はネットより）、出石城などあります。白磁の出石焼やお土産を見たり、古い街並みをゆっくり散策して3時半ごろには帰路につきます。



## ● 11月23日（土・祝）満願寺～最明寺滝へ 紅葉と滝を楽しむ

阪急宝塚線、雲雀丘花屋敷駅に集合して、川西市にある満願寺に向かいます。駅を出て街中の急な坂道を約1.2km登ったら、平らな道に出ます。途中で地藏石仏を見て、仁王像のある山門をくぐり境内に入ります。11月末は美しいモミジの紅葉が見られます（要100円）。境内の外で昼食を取り、最明寺滝に向かう山道を下っていきます。途中木道もあり歩き易くなっています。最明寺滝は落差が10mですが、間近に見ることができ迫力があります。祠もあり、深山幽谷の雰囲気醸し出しています。帰路も道の両側の色々な樹々の紅葉を見ながら、最後は街中を通り山本駅に向かう約5kmのコースです。



満願寺山門



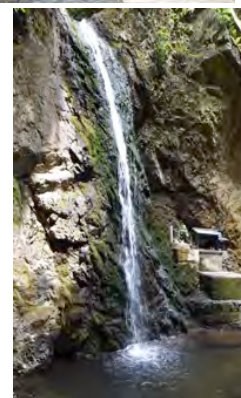
地藏石仏



境内の紅葉



コマユミ



最明寺滝

### 【お盆とトンボのはなし】

トンボは蜻蛉と書きますが、精霊＝死者の命に通じると言われます。8月のお盆には亡くなった方の霊がトンボに憑依（ひょうい：乗り移る）して家族に会いに戻ってくる言い伝えがあります。子供時代に1m半の糸の両端に重りを付けた“ブリ”で、夕刻に森に帰るギンヤンマを採っていましたが、「お盆にトンボを採ると罰が当たる」と祖母に叱られました。

以前、家の中までよく入ってきたカトリヤンマ（兵庫県RD-Cランク、写真）は環境変化で急減し、西宮ではほとんど見られなくなりました。寂しいですね。

